

研究情報の公開（オプトアウト）について

臨床研究のうち、患者様への侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いる研究では、国が定めた指針において、対象となる患者さまに研究に関する情報を公開した上で、拒否の機会を保障することが必要とされています。このような手法を「オプトアウト」といいます。以下の研究への協力を希望されない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせをお願い致します。

研究のテーマ (研究番号)	「回復期リハビリテーション病棟脳卒中患者における栄養指標とリハビリテーション効果の関連」 (承認番号：初 2025-20)
研究責任者	岩熊麻美
研究の目的 及び意義	回復期リハビリテーション病棟において、栄養管理は機能回復や転帰に直結する重要な要素であり、2020 年度診療報酬改定では、回復期リハビリテーション病棟入院料1において管理栄養士の専任配置が要件化され、栄養管理の重要性が制度面からも強調されている。さらに、先行研究においても、低栄養がリハビリテーション効果や ADL 改善に影響することが報告されている。 その一方で栄養状態の評価指標は多数存在。GNRI、BMI、血清 Alb などリハビリテーションとの関連性は個々には示されているが、どの指標がリハビリテーション効果との関連がより強いかを示した報告は限られている。 当院回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者において、栄養状態の評価指標が、リハビリテーションのアウトカムに影響するか検討することを目的とする。
研究期間	2025 年 8 月 19 日 から 2026 年 2 月 7 日
研究の対象となる 患者様	2024 年 11 月～2025 年 7 月までに当院を退院した初発の脳卒中の患者様 (除外: データ欠損、くも膜下出血、緊急転院で治療を要した方)
使用させていただきたい情報	年齢、性別、主疾患、既往歴、発症日、入院日、退院日、退院先、FIM、Br.stage、握力、歩行速度、RSST、藤島グレード、藤島レベル、栄養補給方法 身長、体重、BMI、Alb、BUN、Cr、GLIM、MUST、下腿最大周径、SMI、細胞外水分比
個人情報の 取り扱い	○対象者の個人情報保護に関する配慮 調査データは匿名化し、具体的な個人情報は他者に一切知られないようにする。また得られたデータは管理上の通し番号を付加し、処理する。 尚、外部に持ち出す際には、法人のパスワード付き USB を使用する。 ○情報の管理について 得られた回答データは院内共有サーバー内に入力・保存する。研究終了後はサーバー内データを削除するとともに、印刷した書類等はシュレッダー処理を行う。 ○研究結果の公表 学会発表および論文投稿を予定する。
お問い合わせ先	担当者：岩熊麻美 電話番号：03-5365-8500